

深良用水

世界「かんがい施設遺産」 登録1周年記念講演会

深良用水の歴史的価値と遺産としての活用策とは



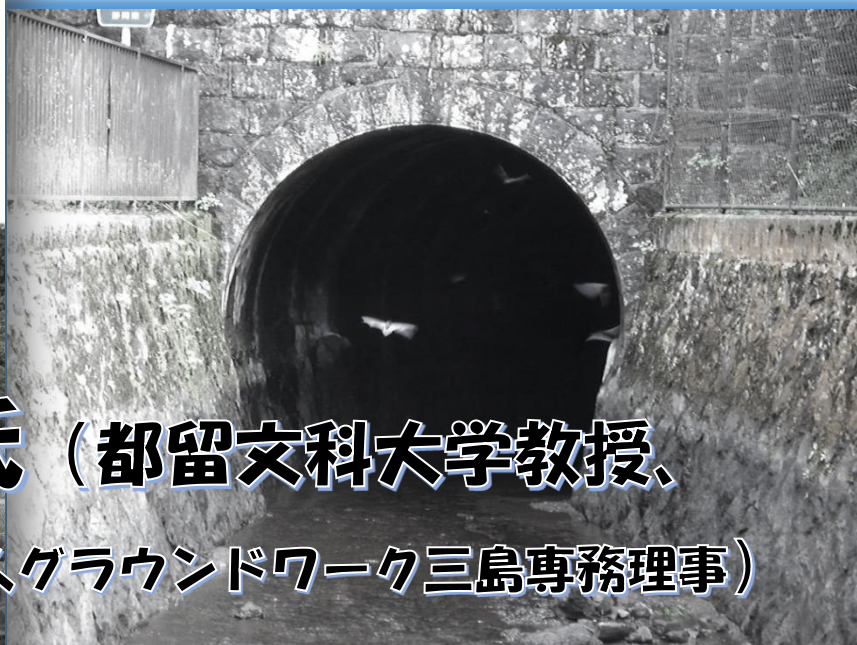
講師

わたなべとよひろ

渡辺豊博氏

(都留文科大学教授、

NPO法人グラウンドワーク三島専務理事)



入場無料!

10月3日(土) 15時30分~

生涯学習センター3階学習ホール

主催：裾野市教育委員会

問合せ 電話：055-992-3800 (生涯学習課)

渡辺豊博（わたなべとよひろ）先生 プロフィール



◆1950年5月秋田県生まれ。

三島南中学校、沼津東高校、

東京農工大学農学部生産工学科卒、

2007年農学博士。

◇1973年4月、静岡県庁に入庁し、農業基盤整備事業の計画実施を担当。特に、1982年頃には、深良用水の水門改修の計画策定に関わり、隧道の現地

調査や測量設計を実施。「友野与衛門たちの偉業・深良用水の開削・農業土木学会誌」「地下水路による取水・送水の技術（深良用水）土木学会誌」等の論文執筆。

2008年4月より都留文科大学文学部社会学科教授。富士山学や市民活動論などを開講。農業土木学会「研鑽賞」「優秀賞」「環境賞」「著作賞」、農村計画学会「農村計画優良事例顕彰」などを受賞。

◇ NPO法人「グラウンドワーク三島」を1992年9月に設立し、主導的な役割を23年間にわたり担い、汚れた源兵衛川の水辺再生や姿を消した三島梅花藻の復活、松毛川の森づくりなどに取り組み、地域づくりや水辺再生をしかける「まちづくりプロデューサー」の役割を全国に先駆けて先導。

※ 著書には、「清流の街がよみがえった」「三島のジャンボさん」「富士山学への招待」「英国発グラウンドワーク」「共助社会の戦士たち」「失敗しないNPO」「富士山の光と影」など多数。